

会 議 要 旨

会議の名称	第3回川越市観光振興計画審議会
開催日時	令和4年4月25日(月) 午後2時 開会 ・ 午後4時 閉会
開催場所	川越市役所4階 4A会議室
会長氏名	立教大学名誉教授 溝尾 良隆
出席者(委員)氏名 (人数)	別紙委員名簿のとおり
欠席者(委員)氏名 (人数)	別紙委員名簿のとおり
事務局職員 職 氏 名	岸野部長、飯野副部長、田中課長、阿部副課長、徳田副主幹、 小淵主事
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 会議及び会議録の公開 4 議事 第二次川越市観光振興計画改訂版(案)について 5 その他 6 閉会
配布資料	次第、審議会名簿 第二次川越市観光振興計画改訂版(案) 今後のスケジュール

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	議題 第二次川越市観光振興計画改訂版（案）について
事務局	< 資料を基に説明 >
委員	P39「市庁舎駐車場利用料」について、駐車場の利用目的が不明瞭なため、さらに詳細な分析を行った方がよいのではないか。
委員	基本方針２施策４０「伝統文化に触れる場の提供」など、内容が外国人だけでないという意見を以前出したところ、基本方針２の題名を「外国人が」を「外国人も」に変更されており、よくなっている。また、基本方針１施策４「映像コンテンツを活用した観光施策」についても、以前は「アニメを活用した観光施策」と「ロケーションサービスの推進」を別々に表記していたが、こちらでも映像コンテンツに集約した方がよいと意見を出し、変更されているため、分かりやすくなっている。
委員	現状から課題、基本方針、施策、そして重点施策までは連動しているが、数値目標が連動しておらず、細かい施策に対する数値目標が分からない。また、課題は定性的な内容であるが、どのような目標を設定し、評価を行うのか。
事務局	数値目標は最終目標であり、課題に対する細かい施策については、施策に紐づく事業において各事業担当課で管理しているため、計画書には記載されていない。
委員	５つの課題の評価はどのように行うのか。定性的な内容だが、定量的な目標で評価できるのか。
事務局	P9 の戦略的重点施策（前期）の評価のように、戦略的重点施策（後期）についても同様に評価を行う予定である。また、目標についてはできる限り定量的な内容に設定する予定である。
委員	P17「課題」について、次世代の観光について、文化度の高い観光を取り上げたらどうか。川越を観光する際は、博物館で川越の歴史を学んでから川越を巡ってほしい。また、アートや建築を

	テーマにとりあげることで、文化度を高めることができる。数値目標の観光消費額について、日帰り観光でも観光消費額の多い、京都(約1万円)を参考にし、付加価値をいかにあげていくかを考え、富裕層を呼び込む施策を考えるとよい。 また、川越は荒川サイクリングロードや入間川自転車道が走っている。それらサイクリングロードから、伊佐沼、博物館の来訪を促すような回遊施策を取り入れるとよい。
委員	川越は南田島など、様々な地域特有お祭りがある。これらを発信することで、一番街だけでなく、広い範囲で川越を訪れてもらうことができる。また、川越は城下町であったというアピールを強めた方がよい。模型の作成、またはVRで城下町を体験できるなど、目に見える形で工夫をするとよい。
委員	P26 施策25「夜の観光の推進」について、滞在型ということを見ると、早朝も取り入れていただきたい。また、文化度の高い着物体験が広まるとよい。レンタル着物店で着付けをして川越を観光した人が、今後着物を学び、着物を購入したり、よりクラスの高い着物を着て、文化度の高い場所に行くようになるまで興味関心を引き出せる体験に出来るとよい。
委員	現状から課題、施策など流れが非常に分かりやすくなった。ただし、課題から数値目標までのつながりについて、改訂版を読むだけでは分かりづらい。
委員	課題 は基本方針1につながっていて、課題 は全体の施策に散りばめられているなど、読み込めば分かるが、見てすぐには分かりづらいため、どこかにイメージ図を書くとよいのではないかな。
委員	文化度の高い観光については、政策2-(3)で追記したらどうか。博物館で川越の歴史を学んでから川越観光をしてもらえるよう促すためにも、ジオラマの写真などを観光案内所等で貼りだすことで、観光のスタート地点で川越の全景が分かるようにできないか。
委員	P37「役割分担」について、役割の内容が重なっている部分もあり、すみわけや関連性が分かりづらい。

会長	P38「財源」について、収入した金額を観光に係る支出に使っているのか。市の収入と支出がばらばらであり、リンクしていない。観光で得た収入はDMOや観光協会の補助金へ充当できるとよい。 また、収入を上げるために、あぐれっしゅ川越の駐車場の有料化や宿泊税についても、検討した方がよい。宿泊税については、ビジネス利用が多いといったデータがあるが、東京ではビジネスに関係なく徴収しているため、ビジネス利用者から観光税を徴収してもよいと考える。
委員	ICTの活用について、そもそも川越のインターネット環境がどのようになっているか確認した方がよい。ICTの活用を推進していくにしても、街中の通信速度が遅ければ意味がない。
委員	P27 施策3 1「小江戸川越大使等によるPR」について、影響力・発信力のある大使を任命するとよい。また、任期を決めたらどうか。
委員	ゴミ箱の設置について、事業者としては、費用がかかるため置きたくない等の理由が考えられるが、観光行政のおかげでどれだけお金が落ちていて、事業者にとってどれだけの恩恵があるのか調査し、伝えることで、事業者の教育を進めたらどうか。
委員	ゴミの問題については、次のお店で割引になる、スタンプラリーの設置店舗にゴミ箱を置くなどし、お店で捨てさせるようにしたらどうか。 また、観光大使に市民も参加してもらい、川越の観光名所を紹介してもらったらどうか。博物館や桜など、今あるものをいかすことも考えるとよい。
会長	一番街の交通問題について、一方通行にすると車がスピードアップして危ないといった話があるが、横浜の元町では、以前川越と同じような課題を抱えていた通りを、一方通行にし、かつ蛇行させる道を作ることによってスピードがあがらない工夫をしていたため、検討材料としてほしい。
委員	入込観光客数を昨年からビッグデータを用いて算出しているが、従来方式だと男女比が男3：女7であったのが、男7：女3となってしまった。実際に一番街に行ってカウントしてみたところ

委員	る、やはり従来方式のとおり女性の方が多い。 携帯端末のビッグデータについては、基本的に契約者情報でカウントされるため、世帯主が妻と子と川越に来ていたら、入込観光客数としては、男性３人でカウントされてしまう。よく携帯会社と話した方がよい。
委員	博物館・美術館について、大幅にリニューアルを行うべきである。SNS で発信するだけでなく、展示品の入れ替えなど、中身から見直していく必要がある。
会長	旧山崎家別邸の庭園に手を加えてもよいのではないかな。より質の高いものに変えることで、誘客につながる。
委員	川島町の遠山記念館などと相互にストーリー立てて連携するとよい。
会長	川越の博物館、美術館、本丸御殿、氷川神社、三芳野神社など、川越城周辺を中心として大きな構想を計画してもよいのではないかな。 以上